

トンネル工学研究発表会講演の手引

土木学会論文集 F1(トンネル工学)特集号編集小委員会

1. 講演者

プログラムに掲載された講演者の変更があった場合は代理講演者とみなします。代理講演につきましては優秀講演賞(全員が対象)、優秀講演奨励賞(30才以下が対象)の受賞対象とはなりません。

2. 講演者へのご注意

- 1) 発表会の各セッションの運営は、そのセッションの司会に一任されています。
- 2) 司会と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、司会より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、これを遵守してください。
- 3) 発表時間は原則として、論文は20分、報告は15分です。時間内に発表が完了できるように、準備をお願いいたします。
- 4) 発表に際しては、液晶プロジェクターを使用します。パソコンの操作は、講演者自身または同伴者でお願い致します。
- 5) パソコンは全セッションに用意します。個人のパソコンの持込みは禁止致します。

3. 発表方法

- 1) 発表会場に備え付けのWindowsPCにより、PowerPoint2007またはAcrobatReaderXを使って発表していただきます。OHPによる発表は出来ません。MacintoshのPCをご利用の方は、pptファイルとpdfファイルの両者をご持参ください。
- 2) 発表データについて
 - a) 電子データをUSBメモリスティックもしくはCD-R(ファイナライズされたもの)に保存しご持参ください。それ以外のメディアはご利用いただけません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施していただくようお願い致します。
 - b) サイズは20MB以下を目安とし、これを越える場合も100MBを遵守してください。
 - c) 発表用ファイルの名前は演題番号としてください。また、わかりやすいように演題番号に続けて発表題目の先頭数文字を付加して下さい。

例えば、論文I-20、「山岳トンネル技術の変遷についての研究」であれば、
論文I 20(山岳トンネル技術の変遷).ppt
となります。
 - d) 動画データをご利用の場合はWindows Media Player V12.0に限らせていただきます。ただし、音声は利用できません。
 - e) フォントは標準装備されているものをお使いください。(MS明朝, MS Pゴシック, Times New Roman, Centuryなど)。特殊フォントや数式エディタは、正常に表示されないことが考えられるため、図形として作成し、PPT上にコピー&ペーストして下さい。
 - f) ウィルス対策については、会場内の全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、ウィルス感染に関する責任は学会としては負いかねます。各自の責任で会場内のPCをご利用ください。また、発表の際に使用したメディアをお持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウイルスチェックをしていただくようお願い致します。
- 3) 発表会場における注意事項
 - a) 発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に発表データをご持参下さい。遅れると発表できない場合がございます。
 - b) 発表者の方は会場前方の席にて待機してください。

- c) トラブルにより発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。
- d) 発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除致します。

4. 採点

講演は司会、副司会等の審査員によって採点され、優秀な講演者には優秀講演賞(全員が対象)、優秀講演奨励賞(30才以下が対象)の表彰を行ないます。賞の受賞者はトンネル工学研究発表会のHP上で発表されます。

採点は①～④の4項目を各5点満点とし、合計点を採点します。なお、各セッションでの相対評価ではなく、絶対評価とします。

①講演の分かりやすさ

②パワーポイントの分かりやすさ

③講演時間

5点：+30秒以内，-1分以内

4点：+1分以内，-2分以内

3点：+1分30秒以内，-3分以内

2点：+2分以内，-4分以内

1点：+2分30秒以内，-5分以内

0点：+2分30秒超，-5分超

④質疑応答時の対応

主として以下の項目で評価します。

- ・質疑に対して技術的な内容をわかりやすく説明しているか
- ・質問者の意図を的確に理解できているか
- ・コミュニケーション能力があるか

なお、講演者以外の方(共著者等)が応答したことだけで質疑応答時の対応の評価を下げることはありません。